

物理談話会

(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

【日時】 11月16日(金)14:40~16:10

【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

【発表者】 萩原 政幸 (先端強磁場科学研究センター)

【タイトル】 強磁場の世界

【要旨】 子供の頃、砂鉄を用いて馬蹄形磁石や棒磁石の周りに模様ができ、不思議だなと思った人もいることでしょう。宇宙にはとてつもなく強い磁場が存在し、我々の体を作っている分子がばらばらになる磁場や粒子-反粒子の数を変えてしまうほど強い磁場が存在すると考えられています。今年度は**1000テスラを超える屋内最高磁場の発生**という特筆する出来事が日本でありました。我々のセンターは、国内最大の蓄電エネルギーを持つコンデンサーを有しています。講義の後半はこれを用いて発生させた強磁場下でどのような研究を行っているのかを、阪大強磁場施設の歴史と共に紹介します。



国内最大の蓄電エネルギーを有するコンデンサーバンク



1200テスラの屋内最高磁場発生の様子(東大物性研)

物理談話会(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

<http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/ja/grad/rinkou.html>